

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 第三者認証制度推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策調整課 社会基盤係 電話番号：058-272-1111(内3384)

E-mail：c11238@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 151,446 千円 (前年度予算額： 446,364 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	446,364	446,364	0	0	0	0	0	0	0
要求額	151,446	0	0	0	0	0	0	0	151,446
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

感染防止対策に取り組んでいる飲食店に対する「第三者認証制度」及び「ワクチン検査・パッケージ」については、感染拡大の防止と社会経済活動の両立のため引き続き制度を維持していく必要がある。

(2) 事業内容

第三者認証制度

飲食店からの申請受付、感染防止対策の実地確認、コールセンター業務、郵送業務

ワクチン・検査パッケージ

飲食店からの登録受付、登録業務、コールセンター業務、郵送業務

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	151,446	実地調査、コールセンター業務、事務局運營業務等
合計	151,446	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

令和3年4月の国事務連絡により「第三者認証制度」導入を検討することが示され、現在、全都道府県で導入されている。

令和3年11月の基本的対処方針の変更により、第三者認証店を対象にワクチン・検査パッケージ制度の導入が決定され、登録業務や制度適用時の見回り調査を県で実施することが示された。

令和4年12月の国事務連絡により、認証店については「第三者認証制度」の質を担保するため、都道府県が地域の事情等を考慮し、必要と判断した店舗に対して、適時適切に見回り調査を行うこととされた。

また、現行の基本的対処方針（令和4年11月変更）においても、第三者認証制度及びワクチン・検査パッケージ制度を活用した行動制限の緩和措置に加え、「都道府県は、実効性ある第三者認証制度の普及と認証店の拡大に努めるもの」と示されており、制度の継続実施が必須である。

(2) 後年度の財政負担

引き続き認証店舗の普及促進、質の担保、ワクチン・検査パッケージ登録等を継続していく必要があり、これに係る財政負担が生じる。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

認証制度及びワクチン・検査パッケージを維持することで、県内飲食店等の感染防止対策の意識を高め、県民の認証店舗の利用を促し、飲食店の感染防止対策と社会経済の回復・再生を両立させる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標	
					(R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症防止対策に取り組む事業者を支援することが目的であるため、目標を設定することは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>感染防止対策の取組み状況を実地にて調査・確認することで、感染防止対策の実効性を高め、感染リスクの低減を図ることができた。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>感染の急所とされる飲食店に対し、感染防止対策の実施状況を実地にて調査・確認することで、県内事業者の感染防止対策の向上を図る必要がある。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>感染防止対策の取組み状況を実地にて調査・確認することは、感染防止対策の実効性を高めるために有効な手段である。また、県民が安全・安心な店舗を利用をするための重要な指標となっている。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 2	<p>WEB申し込みを導入することで、利便性を高めつつ、業務の効率化を図った。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 感染状況及び国の対応を踏まえて検討する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者（団体）	（理由）
補助事業の概要	（目的） （内容）
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容） （理由）
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 （理由）

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和3年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--